日米のつながり

若い世代の交流促進

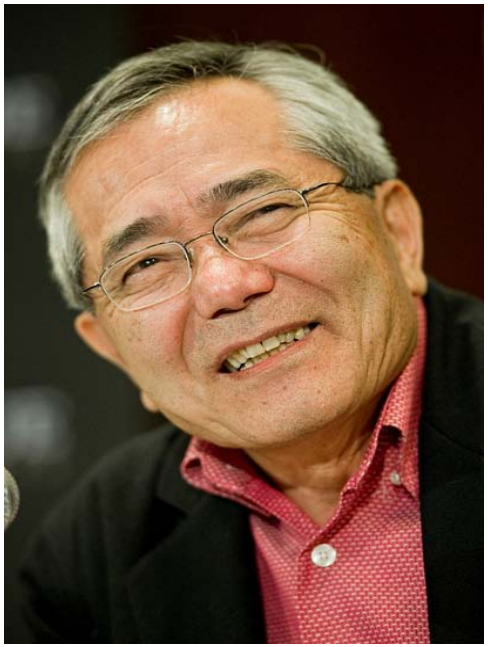
ジェームス・Ｐ・ズムワルト
在日米国大使館 首席公使
AFS福井支部設立25周年記念講演
2010年12月12日

おめでとう！AFS福井支部

- 25 年間のすばらしい国際教育交流支援
  - 1984年以来、米国をはじめ、ニュージーランド、ドイツ、オーストラリア、タイから105人　以上の学生をホスト
  - 94 人以上の学生を米国、オーストラリア、ドイツ、スイスへ送り出す

留学経験のある著名人

根岸英一
ノーベル賞受賞者
パデュー大学



緒方 貞子
国連難民高等弁務官
ジョージタン大学
カリフォルニア大学
バークリー校

新浪剛史
ローソン社長
ハーバード大学
経営大学院

福井から最初の留学生：日下部太郎

- 1870年、福井藩の日下部太郎はニュージャージー州のラトガース大学を卒業。アメリカの大学を卒業した初めての日本留学生となる。
- 日下部氏に続いて、明治から現在に至るまでたくさんの日本人学生がアメリカで学問を探究。

あるアメリカ人交換留学生の日本での経験

駒場東邦高校の制服姿のジム・ズムワルト：東京、1973年

東京での駒場東邦高校の同窓会

留学で得られるもの

- **留学生:**
  - 英語力
  - クリティカルシンキング(分析的思考力)
  - 自信
  - 多様性の経験
- **留学生受け入れ国:**
  - 他文化に対する認識と理解の深まり

日本の高校の友人たちと私（中央）（1973年）

日米学生交流の動向

- 交流プログラムで来日する若い米国人の増加
  - JETプログラム
- サクセスストーリー
  - 具体例
- 留学生を歓迎する米国の大学
- 交流プログラムの総数の増加

UNIVERSITY OF NOTRE DAME

日本で学ぶ米国人留学生増加の理由

- 語学力や留学経験が卒業要件
- 競争が激しい米国の雇用市場
- 日本のポップカルチャーへの関心

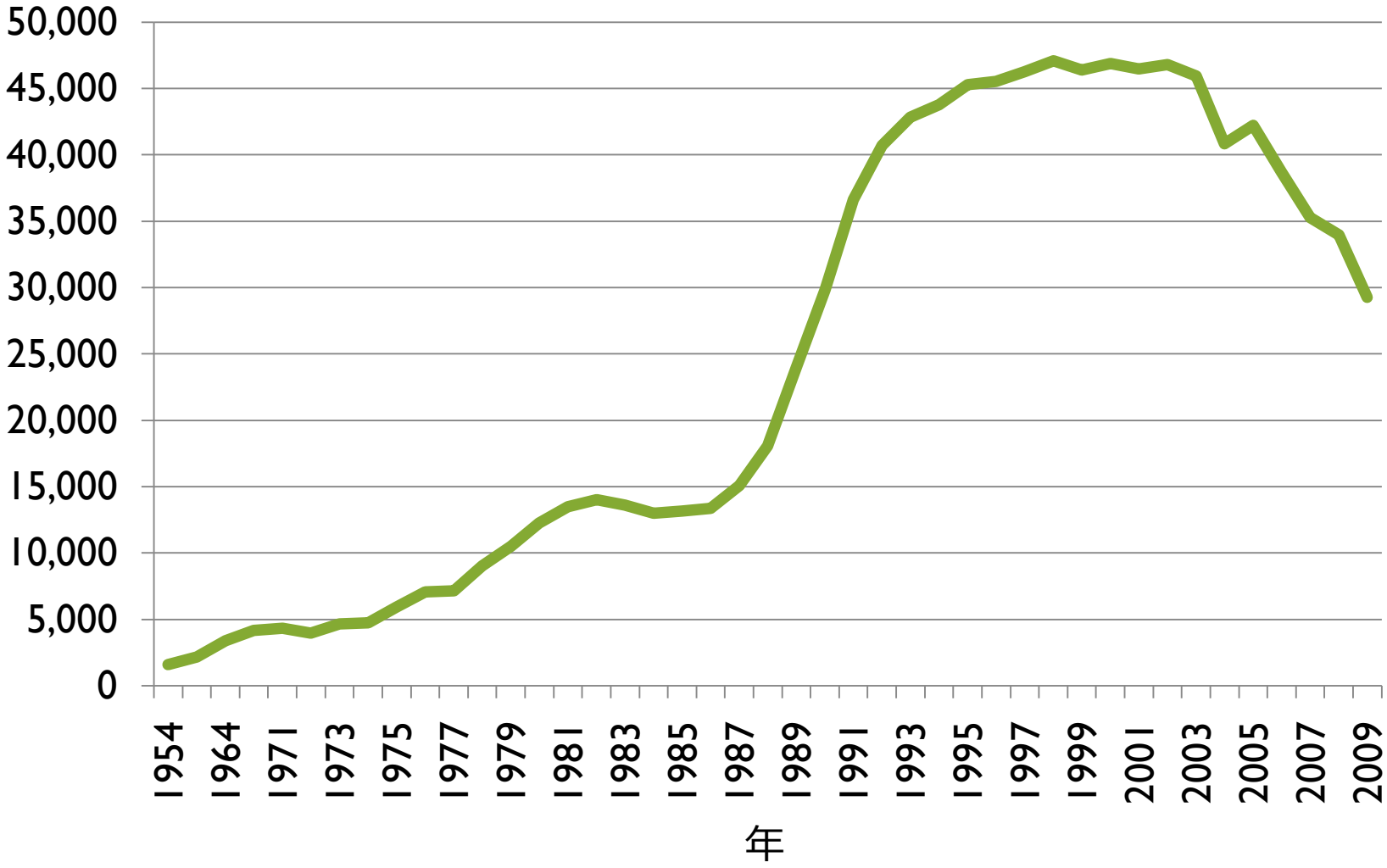
Source: Institute for the International Education of Students (IES) Tokyo Center, Dec. 2009

日本人留学生を
歓迎する米国の大学

Open Doors 2010

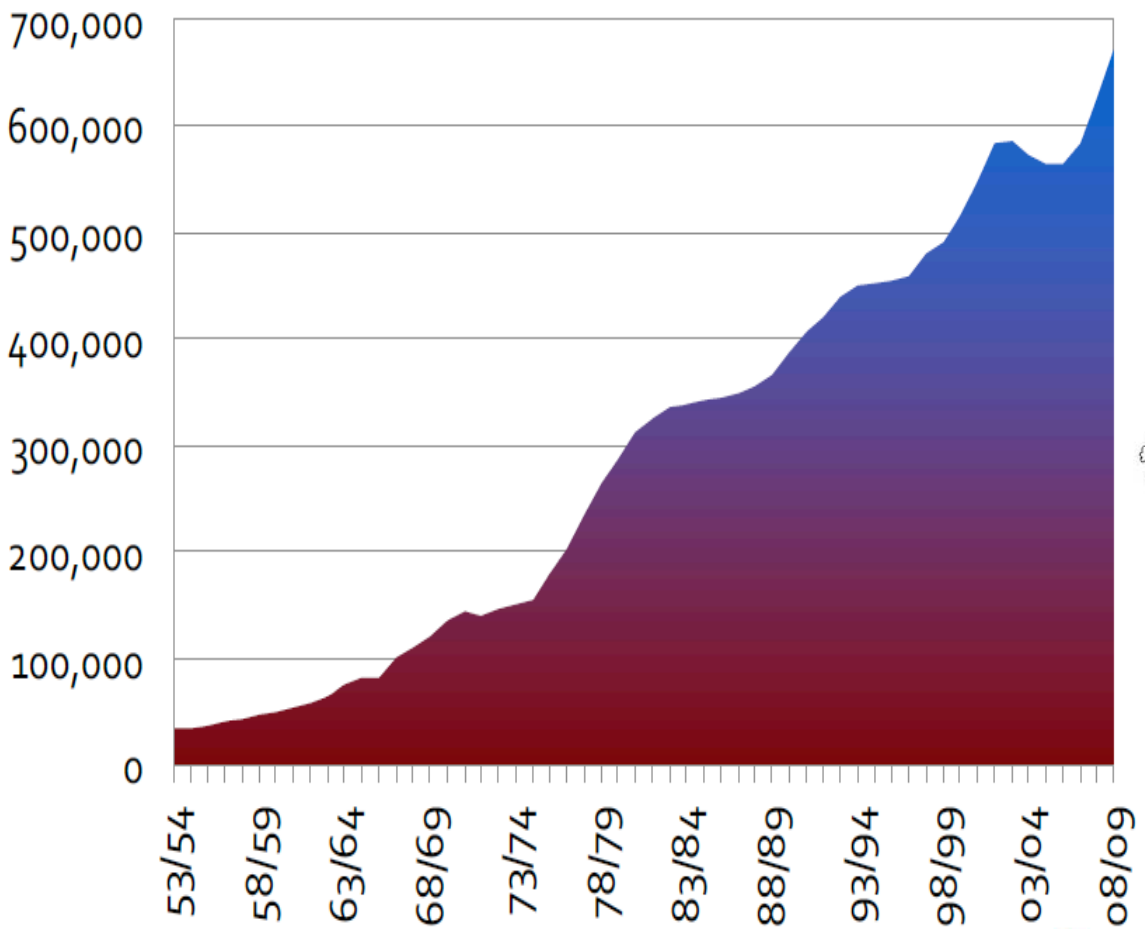
米国で学ぶ日本人留学生

近年減少傾向



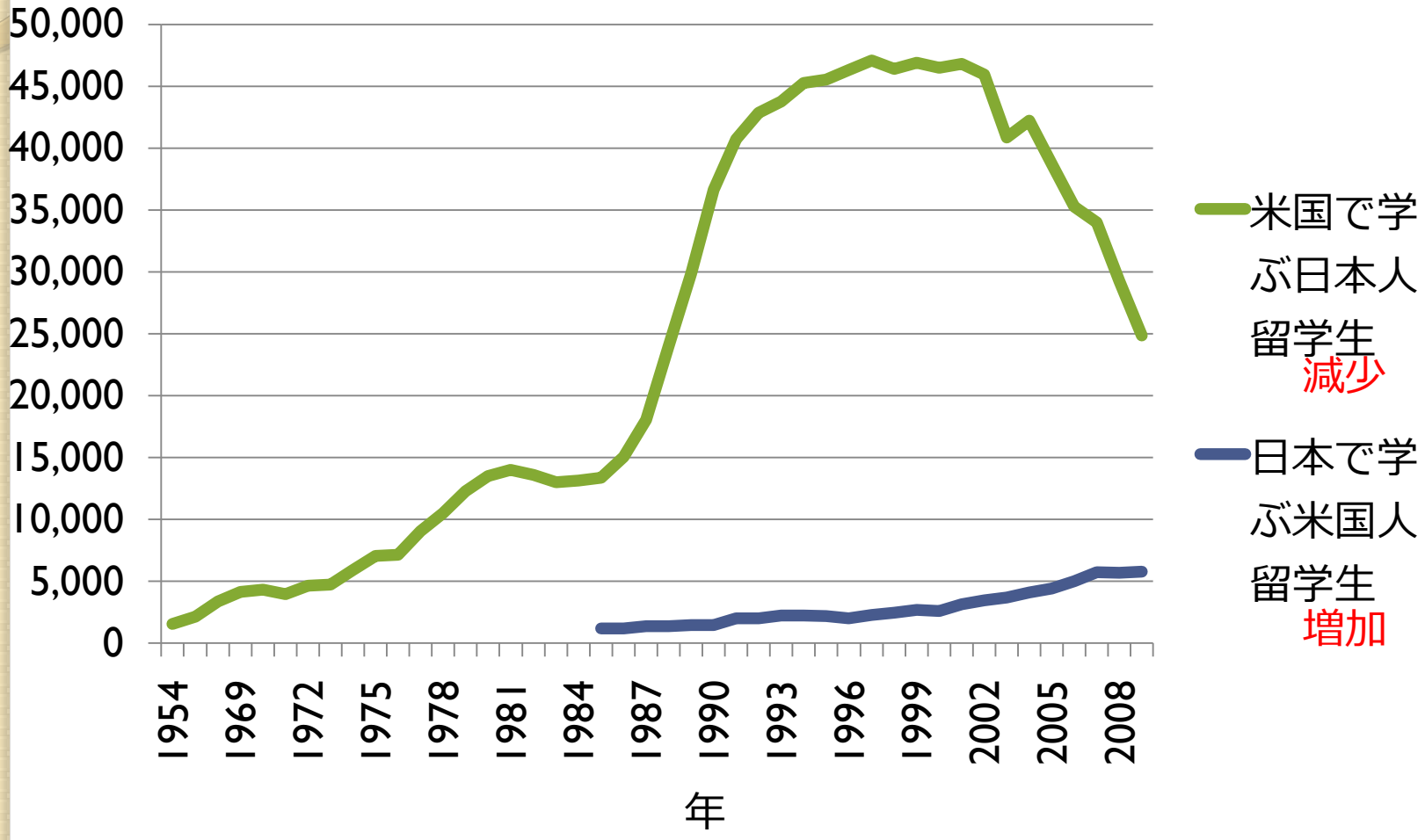
Open Doors 2010

米国の大学に在籍する留学生の数



Open Doors 2010

日米の留学生の数



主な課題

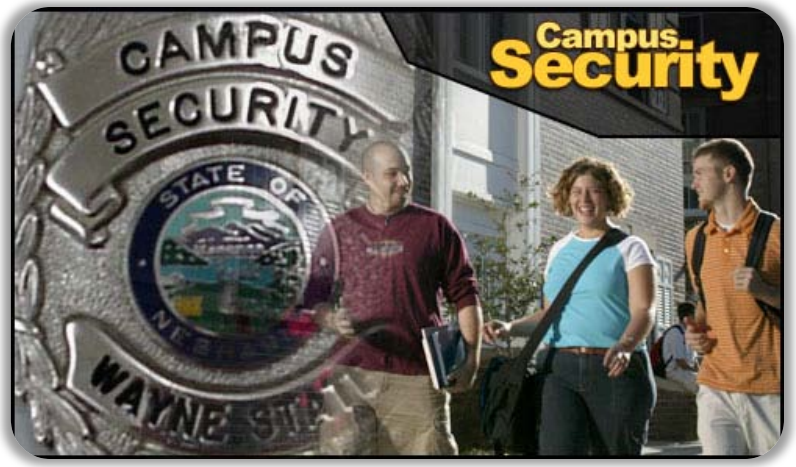
- 学生ビザ申請
- 治安面の不安
- 願書の提出
- 経済的問題
- 日本の就職競争
- 現状に満足する学生

学生ビザ

- ビザ取得手続きに関する正確な情報を学生と家族に提供:
  - 日本語を話す大使館職員との短く簡単な面接
  - 面接の予約はすぐにでき、ビザは約１週間で発給
  - 米国政府は、日本で発給するビザの数に制限を設けていない
  - 詳しくは http://japan.usembassy.gov を参照

治安面の不安の解消

- 米国の大学のキャンパスの治安に関する正確な情報を広める
- 学生にキャンパスの安全を説明し安心してもらう
- 個人の安全に関する情報源
  - iaclea.org



願書提出に関する情報源

- 一対一のカウンセリングが可能
  - 予約なし、電話または電子メール
  - EducationUSA: www.educationusa.info/japan
  - ConnectUSA (日本語): http://connectusa.jp/study/index.html
- 入学審査の説明会
  - http://fulbright.jp
  - 東京での説明会（毎月開催）
  - 各地のアメリカンセンターでの説明会（毎年開催）

日米の授業料比較

米国の授業料は日本よりかなり割高

	日本の授業料および諸費用	米国の授業料および諸費用	
	$1 = ￥90で計算		
公立大学 学部課程	65万円	157万円	141% 高い
私立大学 学部課程	131万円	227万円	73% 高い
私立大学 修士課程	108万円	204万円	89% 高い
私立大学 博士課程	104万円	278万円	167% 高い

Sources: Japan Student Services Organization (JASSO), Student Living Survey 2006
College Board, Trend in Higher Education Series - Tuition 2008-09

我々にできること

- 奨学金についての情報提供
  - fulbright.jp
- 大学間の提携促進
- 各地域の家庭に、学生の保証人やホストファミリーになるよう奨励
- より多くの企業に、従業員の米国留学資金を提供すよう奨励
- アメリカ留学経験者に、自身の体験談や留学の意義について、留学を検討中の学生やその保護者に、話をする機会を設ける

国内の就職競争

- ３年生のとき就職活動ができない
- 留学経験の価値について楽観論が後退
- 雇用者の期待と学生の懸念のギャップ

夏季および短期プログラム

- 数週間から３カ月までのプログラム
- 米国の教育機関と協力した夏季・短期プログラムの創設を日本の大学に働きかける
- 米国での課外・スポーツ・文化交流プログラムの検討を学生に働きかける

就職面での課題の克服

- 早期の留学を働きかける
- 雇用者が海外経験を高く評価していることを説明し、家族を安心させる
- 英語公用語化

- 雇用者に対し、海外経験のある志望者を求めていることを明確に打ち出すよう働きかける

雇用機会の創出

- 留学生向けの就職フェアを企画
  - ボストン・キャリアフォーラム2010:
    9月17～18日
  - ロサンゼルス・キャリアフォーラム2010:
    10月22～24日
- 海外経験重視の雇用データベースを作成

現状に満足している学生

- 学生の冒険心を刺激する
- より若い年代の学生に交流プログラム参加を促す
- ミシェル・オバマ曰く

「結局、心を開いて海外で活動するという簡単な行動が、自分の可能性の定義を変えることになる」

役立つ情報源

- http://iie.org
- http://fulbright.jp
- http://connectusa.jp/study
- www.educationusa.info/japan
- www.careerforum.net
- www.FundingUSStudy.org
- www.InternationalScholarships.com

今後の課題

- 国際的な提携を進めるよう大学に働きかける
- 留学生の就職活動を支援する取り組みを体系化する